

豊栄の20世紀

21世紀を迎えました。ここで新世紀の航海に先立ち、皆さんとともに、豊栄の20世紀を振り返ってみたいと思います。

20世紀は明治34年から始まり、平成12年で幕を閉じました。そこには、数々の戦争と多くの人々の戦死、科学文明の目覚ましい発達、人口の爆発的な増加などが見られます。こうした中で、私たちのふるさとも生き抜いて、現在の姿を形づくってきました。それでは年表と写真から豊栄の20世紀を見てみましょう。

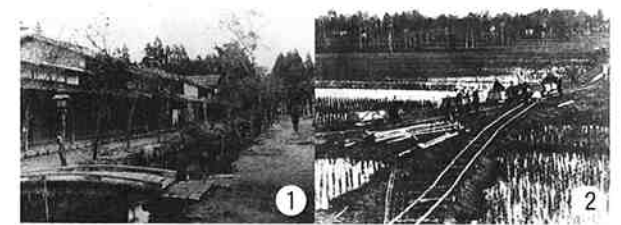
1949年 (昭和24)	4月	葛塚町公民館設置。
1950年 (昭和25)	8月	農林省新井郷川農業水利事業起工。
1952年 (昭和27)	4月	葛塚町他5か村組合立伝染病院竣工。
1953年 (昭和28)	6月	福島潟干拓期成同盟会結成。
1954年 (昭和29)	8月	新井郷川排水機場試運転を開始。
1955年 (昭和30)	3月	葛塚町、木崎村、岡方村が合併し、豊栄町ができる。
	4月	豊栄町初の町長選挙で、三林宏作が当選する。
1956年 (昭和31)	4月	白新線が新潟まで開通。
1957年 (昭和32)	2月	白新線黒山駅、早通駅開業。
	4月	本町通りの露天市場、常盤町へ移転。
1959年 (昭和34)	5月	豊栄町、長浦村合併促進協議会において合併についての協議。
	7月	豊栄町と長浦村合併 人口34,625人。
1960年 (昭和35)	2月	下大谷内地区住民投票の結果、分町不成立。分町問題に終止符打たれる。
	4月	浜浦地区が新潟市へ分町する。
1961年 (昭和36)	9月	第2室戸台風発生、被害甚大。
1962年 (昭和37)	2月	豊栄町消防本部設置(昭和40年に消防署設置)。
1963年 (昭和38)	6月	福島潟土地改良区による干拓起工式。
1964年 (昭和39)	6月	新潟地震発生、被害甚大。
1965年 (昭和40)	5月	3地区の支所を出張所とする。
	7月	新潟競馬場開場し、中央競馬開催される。
1966年 (昭和41)	7月	水害発生。
1967年 (昭和42)	1月	地盤沈下防止のため天然ガスの新規採取を禁止。
	4月	豊栄高等学校の第1回入学式を葛塚中学校で行う。
	8月	水害発生。
1968年 (昭和43)	5月	人口3万人以上で市制施行を希望する町村が「新市制実現期成会」を結成する。
1969年 (昭和44)	5月	県住宅供給公社造成の早通団地分譲開始。
	11月	早通団地の県営住宅3棟完成し、47世帯入居する。新潟東港開港。
1970年 (昭和45)	4月	市制施行実現のため常住人口調査を行う。人口32,071人。
	11月	市制施行。
1971年 (昭和46)	4月	市長選挙で石井耕一が当選する。
1972年 (昭和47)	10月	国鉄白新線全線電化。
1973年 (昭和48)	3月	葛塚絹の生産絶える。
	5月	福島潟に環境庁の野鳥観察ステーション完成。
1974年 (昭和49)	6月	市役所早通連絡所(現出張所)業務開始。
1975年 (昭和50)	9月	国営福島潟干拓建設事業完工式。
1976年 (昭和51)	4月	葛塚駅が豊栄駅と改称する。葛塚東小学校開校。
	5月	福島潟干拓地への稲の作付けが減反政策とからみ大きな問題となる。
1977年 (昭和52)	3月	住民登録人口が40,000人を超える。
1978年 (昭和53)	6月	水害発生。
1979年 (昭和54)	2月	福島潟環境保全対策協議会発足。
	4月	早通南小学校開校。
1980年 (昭和55)	12月	豊栄環境センター完成。
1981年 (昭和56)	3月	豊栄高等学校定時制課程が閉校。
1982年 (昭和57)	7月	胡桃山排水機場完成。
1983年 (昭和58)	4月	葛塚小学校と上土地亀小学校を統合して葛塚小学校開校。
	4月	早通中学校開校。
1984年 (昭和59)	4月	総合体育館完成。
1985年 (昭和60)	11月	総合体育館完成。
1986年 (昭和61)	10月	新新バイパスの海老ヶ瀬インターから競馬場インターまで4車線開通。
1987年 (昭和62)	4月	市長選挙で小川竹二が当選する。
	9月	福島潟放水路工事起工式。
1988年 (昭和63)	8月	福島潟のオニバスが約20年ぶりに発見される。
1989年 (平成元)	3月	豊栄北部工業団地完成。
	9月	新新バイパスが東港インターから新発田市まで開通する。
1990年 (平成2)	3月	福島潟に国設福島潟鳥獣保護区管理センターが完成。
1991年 (平成3)	2月	シルバー人材センター設立。
	10月	ふれあいセンターオープン。
1992年 (平成4)	4月	一般廃棄物最終処分場江風園が竣工。
1993年 (平成5)	4月	長浦中学校が歴史を閉じ、光晴中学校開校。
	9月	道の駅「豊栄」開駅。
	11月	新潟東港5万トン級外貿コンテナふ頭起工式。豊栄中部工業団地完成。
1994年 (平成6)	4月	葛塚南線野外彫刻祭Ⅱが第3回地域活性化大賞を受賞。
1995年 (平成7)	2月	新しい新井郷川排水機場で通水式。特別養護老人ホーム建設開始。
1996年 (平成8)	4月	特別養護老人ホーム「ほうせい園」オープン。
1997年 (平成9)	4月	ごみ排出指定事業スタート。
	7月	大阿賀橋が開通。
	10月	水の公園福島潟グランドオープン。岡方中学校校舎竣工。
1998年 (平成10)	3月	子供相談センター開所。
	7月	福島潟自然学習園が全面オープン。
1999年 (平成11)	4月	豊栄市第四次総合計画がスタート。
	7月	豊栄市の人口が5万人を超える。
2000年 (平成12)	3月	豊栄駅前通商店街アーケード第1期工事完了。
	11月	市制施行30周年記念式典を総合体育館で開催。



福島潟のヒシの実採り (福島潟干拓以前)



新井甲を襲う濁流 (昭和41年 7.17水害から)



①大正中期の常盤町 (柏崎図書館蔵)



②豊栄駅前道路の建設 (昭和26年ころ)



平成12年11月1日にオープンした市立図書館



旧木崎村の宿場風景 (明治33年ころ) 遠藤松太郎氏蔵



他門大橋 (昭和9年ころ)



阿賀野川での水泳指導 (昭和30年) 岡方第一小学校
新井郷川を行く蒸気船 (大正後期) 薄田豊春氏蔵



長場尋常小学校卒業写真 (昭和6年)

11月	葛塚町、長浦村、岡方村発足。	1901年 (明治34)
	加治川破壊、新発田川決壊。	1903年 (明治36)
9月	北蒲原馬車会社か新発田・葛塚間の往復開始。	1905年 (明治38)
4月	木崎村発足。	1906年 (明治39)
11月	沼垂銀行代理店開業。	1908年 (明治41)
6月	嘉山、前新田に排水機が設置される。	1911年 (明治44)
9月	葛塚町に電灯ともる。	1912年 (大正元)
11月	葛塚郵便局に公衆電話設置。	
7月	大耐漏、両村、法花馬屋排水機場設置。	1913年 (大正2)
11月	村上線(羽越線)新発田・村上間開通。	1914年 (大正3)
11月	一般電話開通。	1916年 (大正5)
11月	新井郷川水害予防組合設立。	1917年 (大正6)
7月	全国的に米騒動が始まる。	1918年 (大正7)
5月	北蒲原郡の小作人が生産米検査に伴う増米廃止を求め同郡地主主に請願する。	1919年 (大正8)
4月	新井郷川放水路工事着工。	1920年 (大正9)
2月	嘉山の村民大会で地主市島家支配人の排斥を決議。	1921年 (大正10)
4月	北蒲原郡立新発田農学校葛塚分校開校。	
11月	笠柳横井小作組合創立。	1922年 (大正11)
8月	新発田・葛塚・水原間にバス運行開始。	1923年 (大正12)
11月	木崎村農民組合連合会創立。	
12月	北蒲原郡地主協和会結成。	
6月	木崎村会議員選挙で川瀬新蔵始め小作組合員が多数当選する。	1924年 (大正13)
8月	日本農民組合主催翌期大学が葛塚町龍雲寺で開催。	
10月	映画劇場宝来館開館。	1925年 (大正14)
5月	鳥居事件発生。児童の同盟休校始まる。	1926年 (昭和元)
7月	久平橋事件発生。	
9月	県会議員選挙で佐藤勇次が大量得票。	1927年 (昭和2)
3月	木崎村農民組合連合会は日本農民組合を脱退。新潟・新発田間に直通バス運行。	1928年 (昭和3)
7月	木崎争議 地主側と小作側の和解が成立する。	1930年 (昭和5)
9月	満州事変始まる。	1931年 (昭和6)
12月	葛塚医療同窓創立。	1933年 (昭和8)
7月	新井郷川改修工事竣工。	1934年 (昭和9)
2月	2.26事件起こる。	1936年 (昭和11)
7月	旧農民組合の有志によって木崎村農民党結成。	
7月	日中戦争(支那事変)始まる。	1937年 (昭和12)
12月	野球チーム北斗倶楽部が第9回全国軟式野球優勝大会に信越代表として出場する。	
5月	木崎村農民組合連合会解散。	1938年 (昭和13)
6月	白新線建設ルートが葛塚経由に決定する。	1939年 (昭和14)
8月	大日本農民組合解散。	1940年 (昭和15)
4月	国民学校令により、小学校が国民学校となり、義務教育8年制となる。	1941年 (昭和16)
12月	大太平洋戦争始まる。	
3月	白新線工事中止となる。	1943年 (昭和18)
8月	東京都深川区元加賀国民学校疎開児童約100人を受け入れる。	1944年 (昭和19)
8月	終戦。12月 第1次農地改革始まる。	1945年 (昭和20)
11月	農業会葛塚診療所(豊栄病院の前身)診療開始。	1946年 (昭和21)
4月	最初の町村長選挙で、葛塚町は八田健吉、木崎村は寺尾四松、岡方村は横山徳四郎、長浦村は佐藤陽二郎が当選する。	1947年 (昭和22)
5月	葛塚、木崎、岡方、長浦の各中学校が開校。	
3月	自治体警察葛塚町警察署設置。	1948年 (昭和23)